

# しまなみロード

8月17日(日) ~ 8月20日(水)

IN しまなみ海道(ザリガニくんオートキャンプ場、みやくぼ石文化交流館)

	午前	午後	夜
1日目	尾道に向けて出発	向島出発 ユースセンター到着	振り返り
2日目	サイクリング(因島、生口島、大三島、伯方島、大島)		振り返り
3日目	今治市へ出発	今治市内散策	フェリー乗船、振り返り
4日目	関西に到着・解散		

**一日目:** まだまだ残暑が続く中、しまなみ海道走破の旅が始まりました。尾崎に集まり、これより尾道へ向かいます。在来線を利用して向かいますので、道中でしっかり自己紹介や話を膨らませ、仲を深めておられました。道中の車内で昼食を済ませ、昼過ぎに尾道に到着しました。到着後はすぐに自転車を借りに行き、自転車講習を行いました。集団での走り方、走行時の注意、意識しないといけない事を、走りながらしっかり体に染み込ませました。講習を終え、宿泊場所のキャンプ場へ向かいました。キャンプ場では、テントを設営し、シャワーを浴び、夕食を済ませ、振り返りをしないとイケないので、多忙です。日も落ちてくるので、皆で協力して次々となしていきました。振り返りは今日一日と明日一日を予測して絵日記を描いてもらいます。みんなで、今日の出来事を思い出し、明日どういったグループになりたいかを話し合い、描きました。まだまだ皆の想いや意見が混ざり合っていないので、明日以降、しっかりと自分自身を出していってもらいます。翌朝は早いので、早々に就寝としました。



**二日目:** 今日は長距離を走ります。少しでも早くから出発出来るよう、身支度やテントの片付け、朝食を手際よく進めました。キャンプ場を出発し、尾道港に戻って参りました。ここから渡船で初めの島“向島”へ渡りました。渡った先の道路には青い線が引かれており、ひたすら線沿いを走っていきます。「今治まで〇〇km」という標識に途方もない遠さを感じますが、皆力強くハンドルを握り、真剣な眼差しで前を見据え、走っています。難なく向島を終え、第二の島“因島”へ渡りました。朝から照り付けが強く、気温もグングン上昇し、昼前にして35℃を超えています。一回目の大休憩時に、何名かしんどそうな様子が伺えました。そうした時に、周りの友達からの声が欲しいところですが、まだ小さく、当人には届いていませんでした。次の島“生口島”に渡り、しばらく走ると、やっと昼休憩のスーパーに到着しました。出発前にももらったお小遣いから自分達の食べたいものを選び、召し上がっていただきました。昼食の様子は、疲れからあまり会話が弾まず、静かな風景でした。午後からも過酷な旅は続きます。しかし、昼食でパワーが身に付いたのか、走りに力が甦っていました。しかし、疲れと暑さ、しんどさから心が折れてしまい、「もう走れない…」と、根を上げる方が出てきました。そうになるとグループの走りは一時ストップし、話し合いの時間になります。何故走れないのか、どうすれば頑張れるようになるか、グループ内で話し合いました。結果として、皆さん続けて走る事になりました。グループ形成を作る上で、非常に大切な時間でありました。その後は一度も根を上げる事なく、走られていました。島々を渡り走り、最後の島“大島”に着きました。施設までひたすら登り坂です。ここで止まると本当にしんどいので、遅くてもいいから、とにかく漕いでもらいました。そして、無事、全グループ施設に到着する事が出来ました。到着後、荷物を持って部屋に移動し、入浴と今日の振り返りを進めました。昨日描いた今日



の出来事を振り返り、出来たこと、出来なかった事を確認しました。その上で、明日の自分達の動きを描き、目標を立てました。夕食を食べ、布団に入ると、すぐに寝息が聞こえてきました

**三日目：** 朝は静かで、こちらが起こすまでぐっすり休まれています。朝食と昨夜完成しなかった絵日記を完成させ、ゴールの“今治城”に向けて出発しました。施設から次の橋までひたすら下りなので、風のように疾走し、とても気持ち良さそうでした。四国本島に向けてかかる“来島海峡大橋”は、これまで渡った橋よりも大きく、長く、高いので、海峡を吹き抜ける風がとても爽快でした。今治市内に入り、しばらく走ると、ついにゴールが見えてきました。全グループ、そこまで時間差はなく、全員でゴールを讃える事が出来ました。その後は、今治市を出発するまで、市内を自由行動となります。グループによっては、お土産を買ったり向かったり、今治タオル館を見学しに行ったり、新都市のイオンへとりあえず行ってみたい、各々考え行動しました。夕食も自分達で考えていただきます。これまでのお小遣いが余っているので、お店に入り、豪華にいただきました。諸々済ませて、今治駅のサイクルターミナルで自転車を返し、ここから“東予港”へ向かいます。関西までの帰る手段はジャンボフェリーです。初めて乗船される方はこれも楽しみで、ワクワクしていました。港に停泊している船の大きさを見て、「オオーツ！！」と歓声が上がっていました。乗船すると、中はホテルのように広く、豪華な造りになっており、これにも感動しておられました。各部屋に荷物を入れ、入浴を済ませ、毎夜お馴染みの絵日記を作成しました。22時に出港なので、それを見ようと、甲板に出たグループもありました。寝て起きたら関西です。お疲れ様でした。

**四日目：** 起きると既に船は大阪南港に到着しておりました。着替え、洗面を済ませると、船内の食堂にて朝食をいただきました。朝食後はすぐに下船をし、ターミナル内にて最後の振り返りを行いました。これまでの内容を読み返し、各グループが過ごした三日間を振り返りました。そしてそこから、『このキャンプを経て、何を頑張る事が出来るか？』を話し合い、それを絵日記にまとめていただきました。南港から地下鉄、JRを乗り継いで、尼崎へ戻ってきました。お迎えの親御様は既に到着されていて、その姿を見ると緊張が溶けたようで、表情が和らいでいました。解散後、一緒に走った仲間とお別れを告げ、帰路に向かいました。



## <キャンプ総括>

今年のしまなみ海道は、太陽の照り付けが半端なく、本当に暑い中での走行でした。気持ちが負けて、リタイアしそうになった時はありましたが、怪我や体調不良でのリタイアはなく、全員完走出来た事に、皆さんの体力と気持ちの強さに大いに感銘を受けました。ご本人や親御様から聞いた話では、メンバー全員が参加に対して自ら手を挙げ、参加を表明されています。だからこそ、その想いを実現させたい気持ちで、我々は取り組んでいます。しかし、実現させる事に対して、様々な弊害があるキャンプです。怪我や体調不良、事故など、容易に達成は出来ません。メンバーとリーダーとが一丸となって取り組む必要があります。誰かがどこかで手を抜いてしまうと、そこから綻びが生まれ、トラブルに繋がります。今回、全員が真剣に向き合い、取り組んだからこそその結果だと思っています。本当にお疲れ様でした。また一緒にしまなみ海道を走りましょう!!

(竹中 哲郎)